

Koryu



(VOL.22)

栗東国際交流協会
〒520-3088
滋賀県栗東市安養寺1-13-33
TEL 077-551-0293 FAX 077-552-9320
E-MAIL
編集 総務広報委員会

Ritto International Friendship Association

平成17年度
総会 & 交流会



新役員を発表する明田さん

「内なる国際化」を更にめざして

平成17年度総会 平成17年5月8日(日)

平成17年度通常総会は、上記の日程で中央公民館で開催され、すべての議案が原案通り可決されました。

本年度事業計画案では、昨年度のさまざまな交流活動からの経験を生かし、地域の国際化、在住外国籍の方々との共生を一層推進する事業を展開していくことで了承されました。

新役員も決定し、後日の各委員会で副委員長も選出されました(下の表)。

総会の後、駆けつけてくれた中国人研修生4人とともに交流会が催され、歓談しました。



中国からの研修生を紹介

本年度の事業計画は下記の通りです。また1年よろしくお願ひします。

役職名	氏名
顧問	國松 正一 猪飼 光三郎
会長	林 輝彦
副会長	内藤 貞男 太田 正雄
総務広報委員長	岡田 明男
総務広報副委員長	竹村 義雄
交流事業委員長	藤崎 聰
交流事業副委員長	中野 光一
文化事業委員長	中島 武彦
文化事業副委員長	北村 勲司
監事	小泉 一夫 西田 琴美

- 4月 中国衡陽市使節団受入 中国語自主講座・韓国語自主講座開講
- 6月 異文化交流サロン 会報発行
- 7月 バーミンハム市使節団受入(歓迎会ほか)
- 8月 りっとう市民夏まつり参加
- 9月 前期英会話I・IIクラス開講 異文化交流サロン 会報発行
- 11月 RIFA会員の集い
- 12月 会報発行
- 1月 後期英会話I・IIクラス開講 国際理解講座(内容未定)
- 2月 日本語講師養成講座 異文化交流サロン
- 3月 会報発行

時期については若干変更することがあります。イベント内容についてアイデアをお寄せください。

RIFA事務局は今年2月から、市役所1階の東側、長寿福祉課前に設置しています。

栗東から母国へ



昨年の11月にRIFA国際理解講座で、オランダのお話やお菓子を提供して下さったオランダ女性を覚えておられますか。

スーザンことスザンヌ・ヴァン・レイデンさん。
日本でのインターンシップを終え、オランダに帰国してはや半年が過ぎました。

今年は母国から『オランダの1年間』を紹介してくれます。

オランダからの便り【夏】 (1)

スザンヌ・ヴァン・レイデン Suzanne van Leijden

雨や雪がたくさん降った厳しい冬が終わり、ようやく天気は良くなりました。毎日太陽が輝くなか、人々は自転車で野原をサイクリングします。サイクリングを楽しむには特別の理由があります。オランダには田舎がたくさんあり、人々は都会の群集の中を自転車で走るの好きではないのです。

人々は時間があれば集まってテラスで冷たい飲み物を飲みます。多くの人がいって楽しく過ごします。仕事が終わればテラスに行くという感じですよ。

友達、家族が集います。日本と違うのは、仕事仲間がそんなに親しくないということです。会社が夏場にバーベキューパーティを催すことはありますが・・・。

お天気の良い週末には浜辺に出かけます。お天気が良くなってくると、オランダの女性はダイエットを始めます。ピキニ姿が素敵であるようにです。でも、クラゲに気をつけて！

オランダの女の子は馬が好きです。浜辺での乗馬は実に楽しいです。けれども、夏の季節が始まったので、それは朝9時から夜7時まで許可されていません。

ドイツ人もたくさんオランダに来ます。特に浜辺にやって来るのです。ドイツには浜辺がないからです。オランダに家を持っていてそこで休日を過ごすドイツ人もいれば、キャンプをしたり、日曜りでドライブするドイツ人もいます。

オランダは本当に『水の都』です。レクリエーションのための小さなボートがたくさんあります。ボートの持ち主はお天気が良い日には、ボートの掃除や改修をします。

また、園芸センターで華花の苗を買って園芸を楽しむ人も多いです。

高校では、このころ試験が始まり、これが終わると9月まで休みです。多くの生徒はアルバイトをします。その他の学校も7月には夏休みに入ります。

両親が2、3週間の休みが取れば、家族で出かけます。キャンプが人気です。休日を安く過ごすにはキャンプが一番。他の国でもそうですが、オランダにもキャンプ場がたくさんあります。オランダにとどまらずに内陸部にキャンプする人、北の方の島にキャンプする人もいます。

けれども、オランダ人の最も人気のある旅行先はなんといってもフランスです。車でたった数時間で、素晴らしい環境とオランダよりずっと気候の良い国に行けるのです。フランスは長年にわたって最も人気の高い国です。

サマーフェスティバルもたくさんあります。ピンクポップやパークポップといった人気のある有名なミュージシャンのポップ&ロック野外コンサートは、とりわけ若者に人気があり、彼らは次の日、またその次の日のコンサートのためにテントに泊まりこむのです。



色とりどりのオランダのチューリップ畑はあまりにも有名



夏の浜辺は人でいっぱい



牧草地ではひつじたちとのんびり

オランダの夏はまたチューリップでいっぱいです。チューリップで埋め尽くされた畑はとてもきれいで、たくさんの人が外国からやってきます。

牛や馬、羊もたくさんおり、この時期に出産するので、かわいい子どもたちも見られます。では、楽しい夏をお過ごしください

オランダより スーザン

RIFA日本語教育受講生の牛俊民さんをご紹介します。



第21回異文化交流サロンに参加
北野天満宮で撮影を兼ねた牛さん。

中国西安市から研修生として昨年夏に栗東市にやって来られました。同じ時期に来られた方々もそうですが、牛さんもまたとても勉強熱心です。

日本語は日本に来る前に数ヶ月勉強、来日してからもまだ1年も経たないのにとてもお上手に話します。

この2月にBNN（びわこ日本語ネットワーク）主催の外国人日本語スピーチ大会に栗東に出場しました。

ご本人の了解を得て、ここにその原文を掲載します。

私の考え方を変えた小さな出来事

牛 俊 民

私は牛俊民と申します。中国の西安出身です。今年23歳です。昨年の8月に研修生として日本に参りました。

現在、栗東市の会社でプラスチックの加工の研修をしています。会社の寮で一緒に来た他の5人と生活しています。

私は17歳のときから故郷を離れて生活をしてきました。ですから、その寂しさにもすっかり慣れていてつもりでした。

でも、今回日本に来ることになって、今までにはない不安と寂しさを感じました。それは今回の来日が人生で初めての海外生活で、また、3年の研修が終わるまで故郷には帰れないからです。

そんな気持ちで私は日本にやって来ました。そして日本での研修生活が始まりました。けれども実際は思ったほど日本での生活は寂しくありませんでした。なぜなら、一緒に西安から来た他の5人と会社に行くのも生活するののもいつも一緒だからです。

でも1ヶ月、2ヶ月と過ぎて、私はすこし集り始めました。せっかく日本に来たのに、私達の生活には殆ど日本人との交流がないのです。私は日本に来る前、日本に行ったら日本人と交流して日本の文化を教えてもらったり、日本語を勉強したいと思っていました。

でも実際に来てみると、中国にいる時と変わらない生活なのです。どうやって日本人と交流するのかきっかけも方法も分からないでいました。

そんなある日のこと、雨で汚れたので洗おうと思って家の玄関に置いていた私の靴がきれいになっていました。私たちの寮の下の部屋に住んでいる奥さんが洗って外に干してくれていたのです。

日本人に親切にされたのは初めてでした。また、17歳のときに故郷を離れてから初めて人にされた親切でもありました。私は本当に感動しました。日本人にこんなに親切な人がいるとは思っていませんでした。

それまで私は「日本人は冷たい」という先入観を抱いていました。けれども、このことがあってすっかりこの先入観はなくなりました。

日本人と交流したいと思っているのに心の中にあるいろいろな先入観があって、どこかにためらいがあったことに気がきました。そしてこのことをきっかけに私は、近所の人達とももっと積極的に交流していけるようになりました。

地域の掃除や行事に参加したりして、男の人とも友達になれました。遊で会うという話をしてしたりします。しかも、交流してみると、思った以上に皆さんいい人ばかりでした。

今、私は日本での生活を楽しく過ごせています。それは私達を応援してくれている周りの人のおかげだと思います。日本での3年間を有意義に過ごし、たくさんの人と交流し、たくさんの方を学び、周りの人に貢献していけるような人材になりたいと思います。

ありがとうございました。



BNN外国人スピーチ大会終了後
インタビュー（2月13日 野洲文化ホールで）

～ご投稿お待ちしております～

エッセイ、記行文、詩、短歌や俳句など、原稿を募集しています。採用分には謝辞を申し上げます。

郵便番号・住所・氏名・TEL/FAX番号を添えて事務局までお送り下さい。